



DVI/HDMI用ツイストペアケーブル延長4分配送信器

**KE104DT**

**取扱説明書**

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。

# ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。  
お読みになった後は、必ず製品の近くの見やすいところに大切に保管してください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

## 絵表示の説明

- 必ずしてほしい行為  
(強制、指示行為) を示す記号



指示



電源プラグをコンセントから抜く

- してはいけない行為  
(禁止行為) を示す記号



禁止



水ぬれ禁止



水場での使用禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

- 万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



# 警告

## ◆ 次のような異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください

火災や感電の原因になります。

- ・ 煙が出ている、へんな臭いや音がするなどの異常のとき。
- ・ 内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・ 落としたり、カバーが破損したとき。
- ・ 電源ケーブルが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。



このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。  
お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

## ◆ 不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてケガの原因となります。



## ◆ 表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しないでください

火災や感電の原因となります。



## ◆ 内部に物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。



## ◆ ぬらさないでください

火災や感電の原因となります。



## ◆ 雷が鳴り出したら、電源ケーブルや本体にさわらないでください

感電の原因となります。



## ◆ 本体のカバーは外したり、改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。  
内部の点検・修理の際は、本製品を設置した業者または当社にご連絡ください。



## ◆ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。  
また、たこ足配線はしないでください。



## ◆ 電源ケーブルを傷つけないでください

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 電源ケーブルを加工しない。
- ・ 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・ 電源ケーブルの上に本体や重いものをのせない。
- ・ 電源ケーブルを熱器具に近づけない。





# 注意

## ◆ 次のような場所には置かないでください

火災、感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 油煙や湯気のあたる場所
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ



## ◆ 通風孔をふさがないでください

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



## ◆ 移動する時は、電源プラグや接続ケーブル類をはずしてください

接続したまま移動するとケーブルに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



## ◆ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



## ◆ 本製品の上に重い物を置かないでください

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。



## ◆ 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。



## ◆ 電源プラグは電源ケーブルの部分を持って抜かないでください

電源ケーブルを引っ張ると電源ケーブルに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグの部分を持って抜いてください。



## ◆ 他の機器と接続する時は、それぞれの取扱説明書に従ってください

指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となることがあります。



## ◆ お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因となることがあります。



# 目次

1. 本製品について.....	6
1-1. 製品構成.....	6
1-2. 製品概要.....	7
1-3. 特長.....	7
1-4. ブロック図.....	7
2. 各部の名称と機能.....	8
2-1. 前面パネル.....	8
2-2. 背面パネル.....	9
3. ケーブルの接続.....	10
3-1. ツイストペアケーブルの接続にあたっての注意及び警告事項.....	10
3-2. ツイストペアケーブルの準備.....	11
3-3. RS-232C ケーブルの接続.....	12
4. DIP スイッチによる設定について.....	13
4-1. EDID 選択.....	13
4-2. 長距離モード.....	13
4-3. 信号品質表示モード.....	14
4-4. RS-232C 接続設定.....	14
5. 当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について.....	16
6. 本製品の固定について.....	16
7. 仕様.....	17
8. こんなときは.....	18

## 1. 本製品について

### 1-1. 製品構成

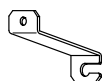
本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に必ず本取扱説明書をお読みに  
なり、本製品に関してご理解いただいた上でお使いください。また、梱包内容を確認し、本体と全ての付属品  
が入っていることをご確認ください。

#### 本製品の梱包内容

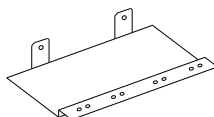


KE104DT (本体)

#### 付属品



DC プラグ固定金具 1個



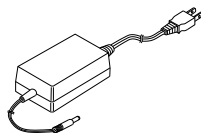
ケーブル固定金具 1個



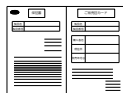
ゴム足 4個



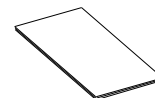
結束バンド 4個



専用ACアダプタ 1個



保証書 1通



取扱説明書 1冊(本書)

#### ■商標について

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標で  
す。また、各社の商標、製品商標に関しては特に注記のない場合でも、十分にこれを尊重いたします。

## 1-2. 製品概要

本製品は、DVI/HDMI 信号及び、RS-232C 信号を CAT5e (STP)/CAT6 ケーブルを用いて、最長 180 m※1 まで延長可能な DVI/HDMI 用ツイストペアケーブル延長 4 分配送信器です。HDCP に対応しているため、著作権保護された信号も延長することができます。

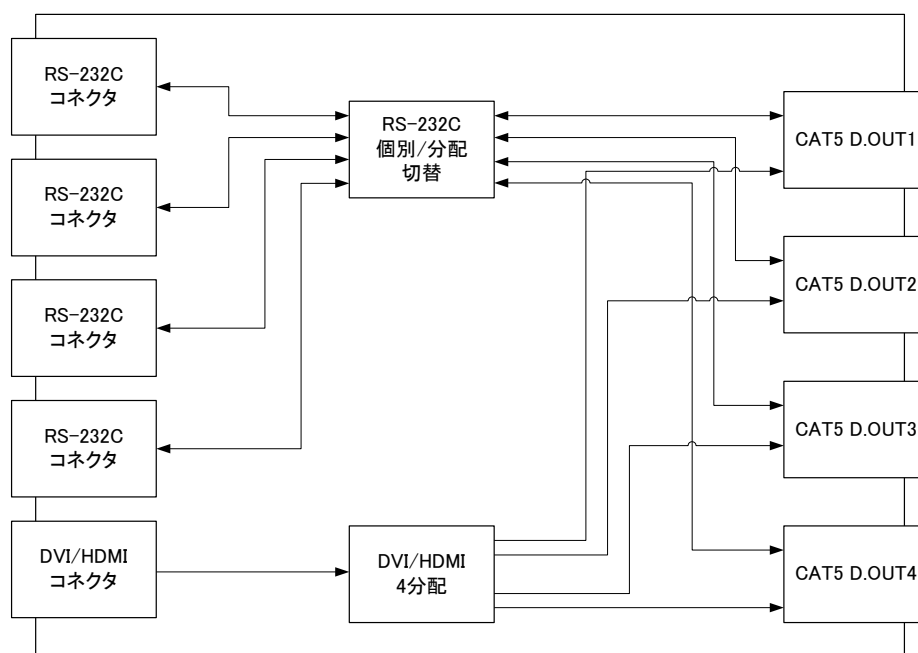
## 1-3. 特長

- ・ DVI/HDMI 信号と RS-232C 信号を、CAT5e (STP)/CAT6 ケーブルにて最大 180 m※1 延長可能
- ・ DVI/HDMI 信号は 4 分配して出力
- ・ HDCP 対応
- ・ 4 系統の RS-232C コネクタを搭載し、4 系統の出力にそれぞれ延長が可能
- ・ RS-232C 信号は、1 系統のみ接続して分配延長することも可能
- ・ 小型、軽量、省エネ設計
- ・ 当社製のツイストペアケーブル延長送信器/受信器と接続可能 ※2

※1 長距離モード時、720p/60Hz、1080i/60Hz、1366×768/60Hz 以下の解像度となります。詳細は“4-2. 長距離モード”を参照してください。

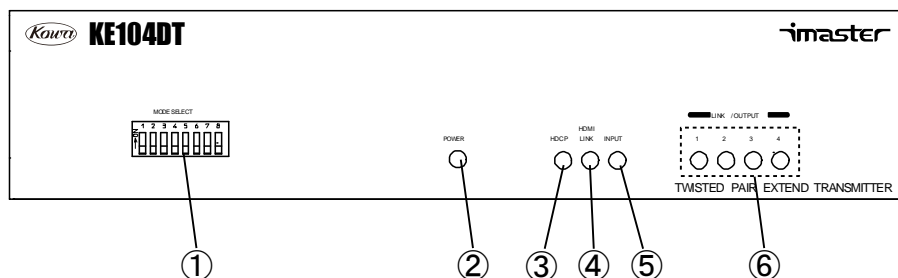
※2 接続可能な機種については、“5. 当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について”を参照してください。

## 1-4. ブロック図



## 2. 各部の名称と機能

### 2-1. 前面パネル



#### ① DIP スイッチ

本製品の設定を行います。詳しくは“4. DIP スイッチによる設定について”を参照してください。

#### ② POWER LED

本製品が通电している場合 LED が点灯します。起動中は点滅します。本製品は通电してから使用できる状態になるまで、13～15 秒程度の時間がかかります。

#### ③ HDCP LED

本製品に HDCP によって保護された DVI/HDMI 信号が入力され、HDCP 認証が成功している場合に点灯します。

#### ④ HDMI LINK LED

本製品は DVI/HDMI 信号を監視しており、何れかの出力から DVI/HDMI 信号を出力している場合にこの LED が点灯します。

#### ⑤ INPUT LED

入力に機器が接続されていることを示します。入力に接続された機器から供給される 5V 電源を検出して点灯し、5V 電源が検出されない場合には消灯します。

#### ⑥ LINK/OUTPUT LED

本製品と接続する当社製ツイストペアケーブル受信器との、リンク状態と映像出力の状態を各出力毎に表示します。

LED の点灯状態	リンク状態	通信状態
消灯	リンクなし	—
赤色点灯	リンク品質が低い状態	映像信号、RS-232C 通信が不安定になる場合があります。
オレンジ色点灯	リンクあり	映像信号がなく、RS-232C の通信が可能です。
オレンジ色点滅	リンクあり (ローパワーモード)	
緑色点灯	リンクあり	映像信号があり、RS-232C の通信が可能です。

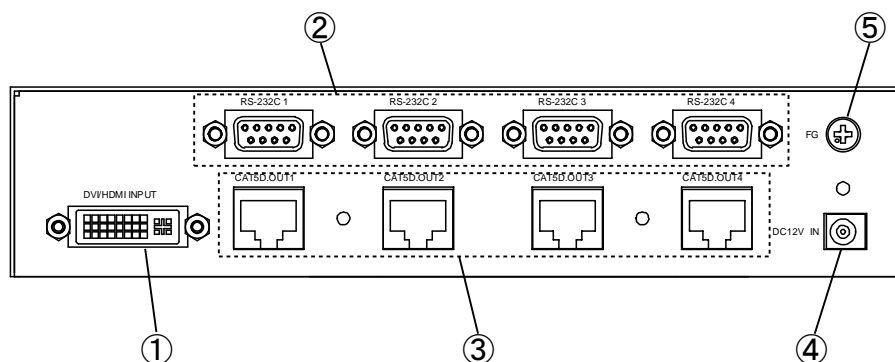
LED が赤色に点灯した場合は、リンク品質が低い状態です。この状態では時々映像が途切れるなどの現象が発生する可能性があるため、ツイストペアケーブルを品質の良いものに変更する、延長距離を短くする、長距離モードを使用する、などの対応が必要になります。また、本製品に接続された受信器がローパワーモードに対応していると、映像信号が途切れた場合に自動的にローパワーモードになります。ローパワーモード時は LED がオレンジ色点滅状態になり、電力消費を抑えます。

また、DIP スイッチの設定により、各出力のリンク品質を LED の表示色で 3 段階で表示することもできます。詳しくは“4-3. 信号品質表示モード”を参照してください。

**注意!** 本体底面にも DIP スイッチがありますが、どちらの DIP スイッチも全て OFF の状態でご使用ください。



## 2-2. 背面パネル



### ① DVI/HDMI 入力コネクタ (DVI-I コネクタ)

DVI/HDMI 信号を入力するコネクタです。接続するケーブル長は 2m 以内としてください。DVI 信号は、シングルリンク、ドットクロック 165MHz までの映像信号の延長ができます。アナログ線は未接続ですので、アナログ映像信号は延長できません。

### ② RS-232C コネクタ (DSUB9 ピン オス座 インチネジ)

RS-232C ケーブルを接続します。送受信器間で最大で 38,400bps のシリアル伝送が可能です。ケーブルの結線については、“3-3. RS-232C 信号ケーブルの接続”を参照してください。また、RS-232C 信号は、4 系統それぞれ独立に延長したり、1 つの RS-232C 信号を分配して延長したりすることができます。詳しくは“4-4. RS-232C 接続設定”を参照してください。

### ③ CAT5 D. OUT 出力コネクタ (RJ-45)

当社製ツイストペアケーブル受信器と接続することにより、DVI/HDMI 信号及び RS-232 信号を CAT5e (STP)/CAT6 ケーブルで最大 180m 延長することができます。ケーブル結線については、“3. ケーブルの接続”を参照してください。また、接続可能な機器については“5. 当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について”を参照してください。

### ④ DC12V IN

付属の専用 AC アダプタを接続します。

### ⑤ FG

アースを接続してください。

### 3. ケーブルの接続

#### 3-1. ツイストペアケーブルの接続にあたっての注意及び警告事項

##### ◆注意

- ・“7.仕様”に記載されている最大延長距離を上回りますと、映像や通信が途切れることがあります。最大延長距離以上でのご使用は、当社のサポート対象外となりますのでご注意ください。
- ・本製品には、当社確認済みツイストペアケーブルのご使用をお勧め致します。また、その他のツイストペアケーブルをご使用する際にはツイストペアケーブルの特性に注意し、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
- ・ノイズの多いAC電源に本体を接続すると、伝送に障害の発生する場合があります。この場合はACコンセント型のノイズフィルタ等を用いて、正常な電源でご使用ください。

##### ◆警告

- ・CAT5 D. OUT コネクタには対応製品以外絶対に接続しないでください。本製品および相手機器が故障する原因となります。またその場合に発生した損害に対して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

##### ◆ツイストペアケーブル配線工事の注意点

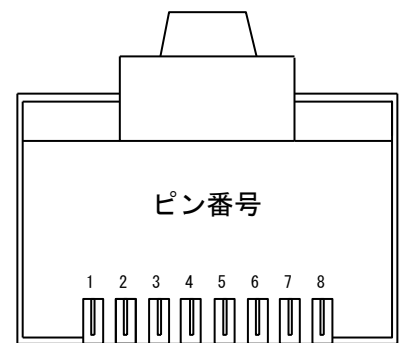
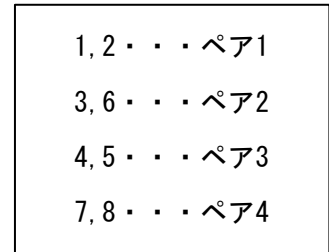
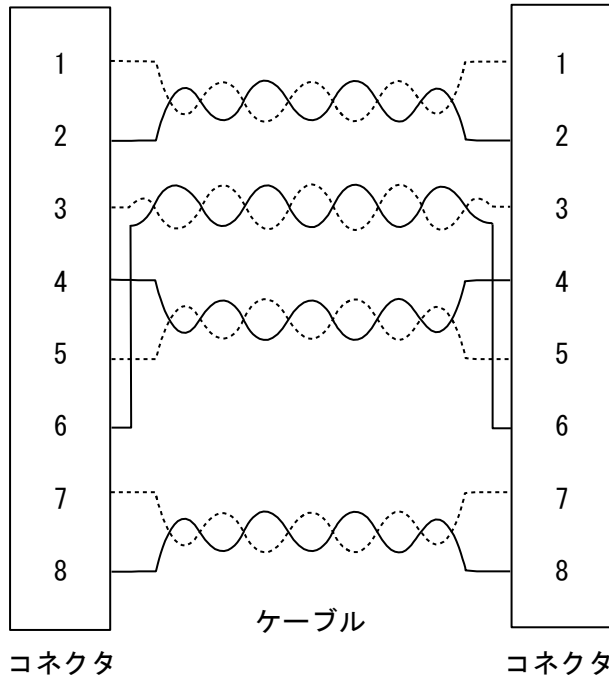
- ・ツイストペアケーブルを強く引っ張らないでください。
- ・ツイストペアケーブルはゆるやかに曲げてください。
- ・ツイストペアケーブルの結線はきつくしないでください。
- ・ノイズ源からは隔離してください。電源ケーブル等のノイズ源には近接させないでください。
- ・送信器—受信器間は、1本のツイストペアケーブルで接続していただくことを推奨します。延長距離が長い場合にケーブルの途中に中継コネクタ等を使用すると、伝送に障害がでる可能性がありますので、中継コネクタ等をご使用になる場合は、ケーブル敷設を行う前に事前の動作確認をしていただくことを推奨します。
- ・送信器—受信器間のツイストペアケーブルを束ねたり、折りたたまないでください。信号が干渉して伝送できない場合があります。また、他のケーブルと束ねることも伝送に障害の出る可能性があるため、お避けください。ツイストペアケーブル延長器を複数セットでご使用になる場合も、ツイストペアケーブル同士が長距離にわたり近接しないように、少しでも離して敷設してください。設置現場の状況により、長距離にわたり近接して敷設する必要がある場合にはSTPケーブルをご使用ください。UTPケーブルよりもSTPケーブルの方が干渉や外部ノイズに強い傾向があります。
- ・ツイストペアケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。
- ・送受信器間をツイストペアケーブルで接続した後、専用ACアダプタを接続します。本製品に電源スイッチはありません。

##### 参考データ

当社確認済みツイストペアケーブル					
メーカー	規格	型名	ケーブル直径	最小曲げ半径	引っ張り強度
岡野電線	CAT5e (STP)	OKTP-E5-0.5X4P-SA	約6.5mm	51mm	110N(11.21kgf)以下
	CAT6 (UTP)	OKTP-6-AWG24X4P	約6.5mm	24mm	110N(11.21kgf)以下

### 3-2. ツイストペアケーブルの準備

送信器—受信器を接続するツイストペアケーブルには、CAT5e (STP) または CAT6 ケーブルを使用し、ストレートに結線します。以下にストレート結線図を示します。



一般によく使用される配線 (TIA/EIA-568B) を以下に示します。



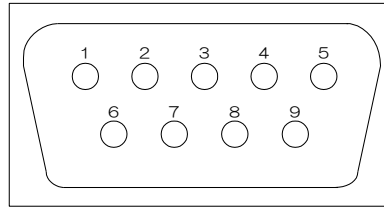
#### TIA/EIA-T568B (ストレート)

1番ピン	白(橙)	-----	1番ピン	白(橙)
2番ピン	橙	—————	2番ピン	橙
3番ピン	白(緑)	-----	3番ピン	白(緑)
4番ピン	青	—————	4番ピン	青
5番ピン	白(青)	-----	5番ピン	白(青)
6番ピン	緑	—————	6番ピン	緑
7番ピン	白(茶)	-----	7番ピン	白(茶)
8番ピン	茶	—————	8番ピン	茶

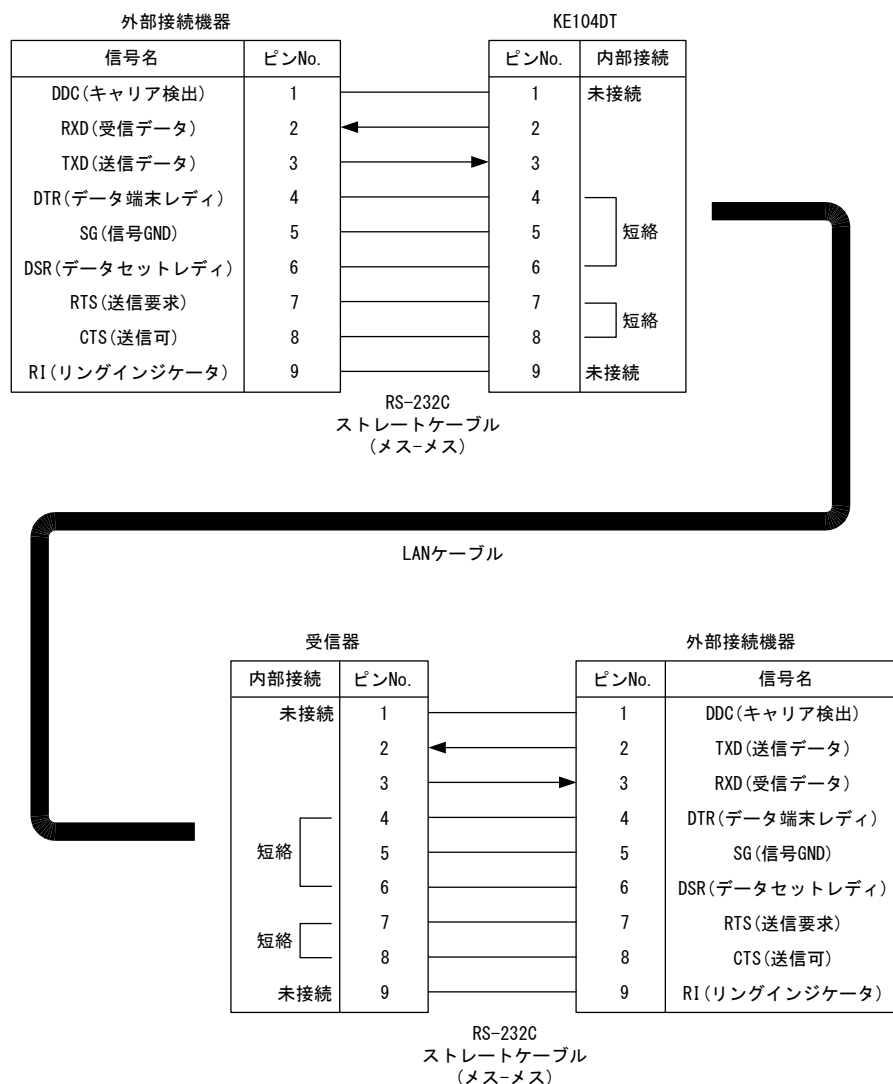
### 3-3. RS-232C ケーブルの接続

本製品の RS-232C コネクタは以下のように内部接続されています。

#### コネクタピンアサイン



#### RS-232C 信号の流れ



本製品を送信器—受信器の組合せで使用した場合、前後の RS-232C ケーブルはストレートケーブルを使用することを想定した設計となっています。PC とモデム/プリンタ等を接続する場合は、ストレートケーブルを使用してください。PC と PC とを接続する場合は、受信器—PC 間にクロスケーブルを使用してください。最大ビットレートは 38,400bps となります。

## 4. DIP スイッチによる設定について

本製品の前面パネルの DIP スイッチには以下の機能が割り当てられています。出荷時は長距離モードのみ ON で、その他は全て OFF となっています。

DIP スイッチ No.	機能
No. 1	EDID 選択
No. 2	
No. 3	長距離モード
No. 4	信号品質表示モード
No. 5	リザーブ (OFF でご使用ください)
No. 6	RS-232C 接続設定
No. 7	
No. 8	

### 4-1. EDID 選択

DIP スイッチ No. 1, 2 の組み合わせにより、入力側へ受け渡す EDID を OUT1~4 から選択することができます。

No. 1	No. 2	機能
OFF	OFF	OUT1 に接続したモニター等の EDID の内容を入力に接続した装置に読み出せるようにします。
ON	OFF	OUT2 に接続したモニター等の EDID の内容を入力に接続した装置に読み出せるようにします。
OFF	ON	OUT3 に接続したモニター等の EDID の内容を入力に接続した装置に読み出せるようにします。
ON	ON	OUT4 に接続したモニター等の EDID の内容を入力に接続した装置に読み出せるようにします。

### 4-2. 長距離モード

本製品は KE101DR2 / KE101ER と組み合わせて使用する場合、長距離モードを使用することができます。DIP スイッチの No. 3 を ON にして、本体の電源を入れ直すことで長距離モードが有効になります。

長距離モードでは伝送する映像信号の解像度により、最長 180 m まで最大延長距離を延ばすことができます。長距離モード時の伝送解像度と延長距離の目安を以下に示します。

伝送解像度	延長距離の目安
640 × 480/60Hz、800 × 600/60Hz、1024 × 768/60Hz、1280 × 720/60Hz、1280 × 768/60Hz、1280 × 800/60Hz、1360 × 768/60Hz、1366 × 768/60Hz、480i/p、576i/p、720p、1080i、1080p/24Hz	180 m 以下
640 × 480/60Hz、800 × 600/60Hz、1024 × 768/60Hz、1280 × 720/60Hz、1280 × 768/60Hz、1280 × 800/60Hz、1360 × 768/60Hz、1366 × 768/60Hz、1280 × 960/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1400 × 1050/60Hz、1440 × 900/60Hz、1600 × 900/60Hz、1680 × 1050/60Hz、1920 × 1080/60Hz、480i/p、576i/p、720p、1080i、1080p/24Hz、1080p	150 m 以下
1920 × 1200 (RB)/60Hz、1600 × 1200、1080p (DeepColor)	長距離モードでは、伝送距離が短い場合でも伝送できません。これらの信号を伝送する場合は、通常モードに設定し、100 m 以内でご使用ください。

**注意!** 長距離モードでは DeepColor の映像信号の伝送はできません。

### 4-3. 信号品質表示モード

DIP スイッチの No.4 を ON にすることにより、OUT1~4 の各出力のリンク品質を前面パネルの LINK/OUTPUT LED で表示することができます。LED 表示とリンク品質は以下のようになります。

LED の点灯状態	リンク品質	詳細
消灯	リンクなし	リンクが確立していない状態です。
赤色点灯	低	リンク品質が低い状態です。この状態では時々映像が途切れるなどの現象が発生する可能性があるため、ツイストペアケーブルを品質の良いものに変更する、延長距離を短くする、長距離モードを使用する、などの対応が必要になります。
オレンジ色点灯	並	これらの状態では特に問題ありません。
緑色点灯	良い	

### 4-4. RS-232C 接続設定

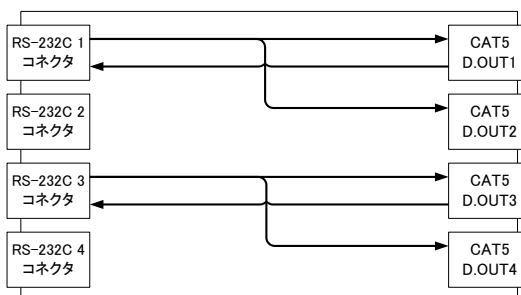
本製品は 4 系統の RS-232C コネクタを搭載していますが、RS-232C の接続経路を選択することができます。選択は前面パネルの DIP スイッチ No. 7 で行います。

DIP スイッチ		詳細
No. 6	No. 7	
OFF	OFF	CAT5 D. OUT1~4 にそれぞれ個別の RS-232C を接続します (RS-232C 接続図 1)。
ON	OFF	CAT5 D. OUT1、2 には RS-232C 1 からの送信信号を分配出力し、CAT5 D. OUT3、4 には RS-232C 3 からの送信信号を分配出力します (RS-232C 接続図 2)。
OFF	ON	CAT5 D. OUT1 は RS-232C 1 と接続し、CAT5 D. OUT2~4 は RS-232C 3 からの送信信号を分配出力します (RS-232C 接続図 3)。
ON	ON	CAT5 D. OUT1~4 に、RS-232C 1 からの送信信号を分配出力します (RS-232C 接続図 4)。

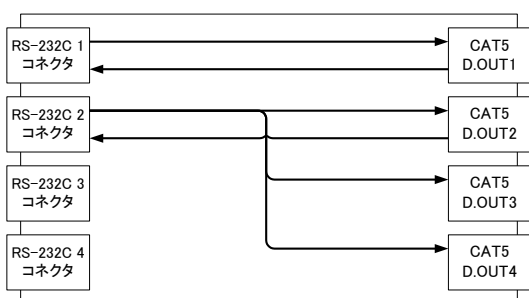
RS-232C 接続図 1



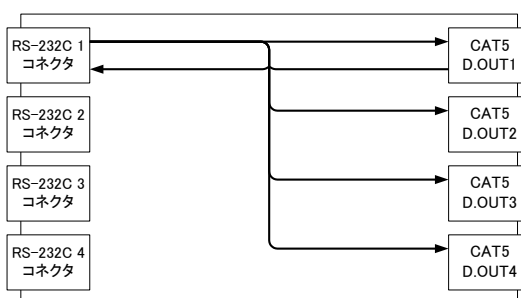
RS-232C 接続図 2



RS-232C 接続図 3



RS-232C 接続図 4

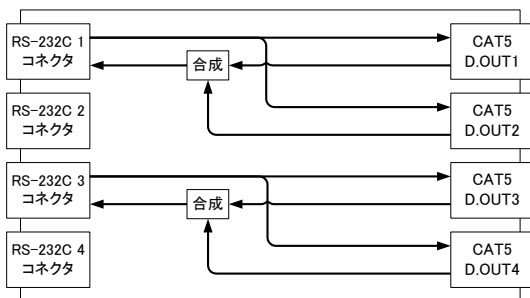


RS-232C 信号の送信信号を分配して各 CAT5 D. OUT に出力する場合、受信信号については、DIP スイッチ No. 8 によって、2 種類の動作から選択することができます。DIP スイッチ No. 8 の動作は、RS-232C の送信信号を分配している場合にのみ有効となります。

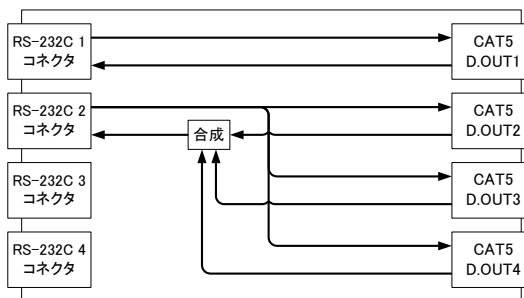
DIP スイッチ No. 8	詳細
OFF	RS-232C 信号の受信信号は、1 系統の CAT5 D. OUT のみ RS-232C コネクタに接続します。
ON	RS-232C 信号の受信信号は、全ての出力の受信信号を合成して RS-232C コネクタに接続します。

DIP スイッチ No. 8 が ON の場合は、以下のように受信信号が合成されます。

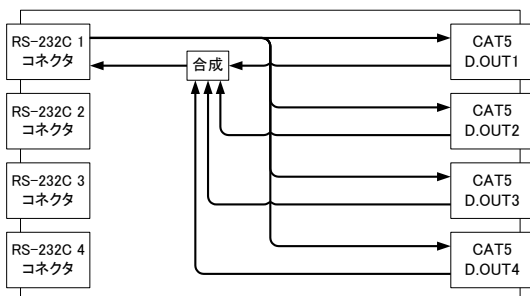
RS-232C 接続図 2



RS-232C 接続図 3



RS-232C 接続図 4



DIP スイッチ No. 8 が ON の場合は、出力の受信信号が合成されて RS-232C コネクタと接続されます。RS-232C 信号で制御する機器にアドレスが割り振られており、対応するアドレス以外には返信を返さないような機器では、RS-232C コネクタ 1 系統と接続するだけで、出力に接続された全ての機器との双方向通信を行うことができます。

## 5. 当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について

本製品と接続可能な当社製ツイストペアケーブル受信器を以下に示します(2013年12月現在)。

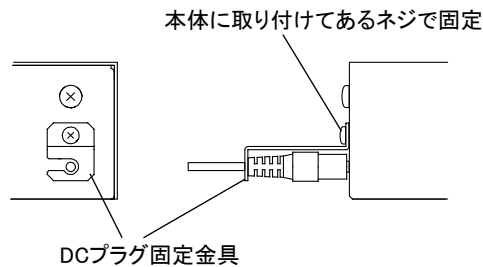
- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| ①ツイストペアケーブル受信器   | KE101ER / KE101DR2 / KE101DR |
| ②ツイストペアケーブル受信ボード | KE101HB                      |

ただし、HDCPで保護されたDVI信号の伝送、及び長距離モードが使用できるのはKE101ER / KE101DR2と接続した場合のみとなります。

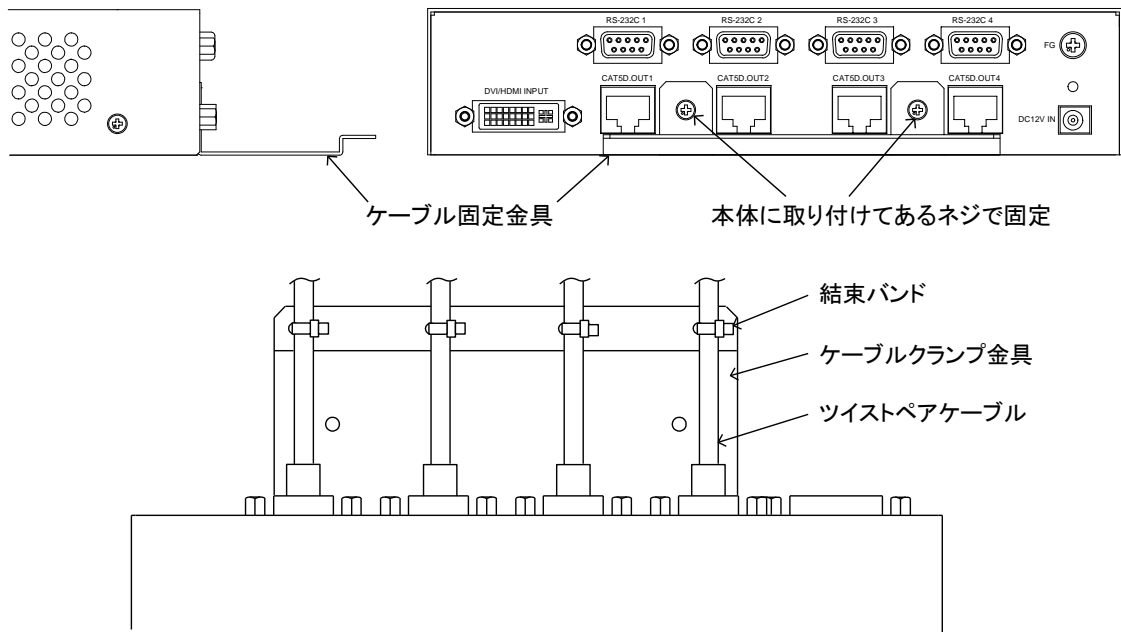
## 6. 本製品の固定について

ラックマウント金具(型名: KE2-M1、KE2-M2)を使用することにより、1Uのスペースに本製品を最大2台設置することができます。ラックマウント金具はオプションとなっております。ご注文される場合は当社営業部、または代理店までお問い合わせください。

また、本製品にはDCプラグ固定金具が付属しており、これを使用してDCプラグを本体に固定することができます。以下の取り付け例を参考にDCプラグを固定してください。



ツイストペアケーブルを固定したい場合は、付属のケーブル固定金具を以下の取り付け例を参考に本体に固定した後、ツイストペアケーブルを付属の結束バンドでケーブル固定金具に固定してください。



特に本体の固定の必要がない場合は、付属のゴム足を本体底面に貼り付けてご使用ください。



## 7. 仕様

型名	KE104DT
入力信号	DVI/HDMI : 1 系統 RS-232C (双方向) : 4 系統
出力信号	CAT5 D. OUT : 4 系統 (当社製ツイストペアケーブル受信器に接続します)
入出力コネクタ	CAT5 D. OUT : RJ-45 DVI/HDMI IN : DVI-I コネクタ (アナログ信号線は未接続) RS-232C : DSUB9 ピン (インチネジ オス座)
DVI	Rev. 1.0 シングルリンク
HDMI	Deep Color、3D 対応 CEC、ARC、HEC 非対応
HDCP	Rev1. 4
出力先最大接続数	16 (出力先に接続できる HDCP 対応製品台数)
ピクセルクロック	25~165MHz
RS-232C	38, 400bps 以下
最大延長距離	100 m (1080p、WUXGA (Reduced Blanking)、UXGA 通常モード時) ※1 150 m (1080p/60Hz/24bit 以下 長距離モード時) ※1 180 m (720p/60Hz/24bit 以下 長距離モード時) ※1
使用温湿度範囲	温度 : 0~40°C 相対湿度 : 20~80% (結露しないこと)
電源電圧	DC12V (専用 AC アダプタ付属)
消費電力	約 20W
外形寸法	W210×D160×H44 (mm) (コネクタ等突起物を含まず)
質量	約 1.1kg (専用 AC アダプタを含まず)

※1 最大延長距離は使用ケーブルや環境によって変わりますので、保証するものではありません。また、CAT5e (UTP) ケーブルでの動作保証はできません。

以下のケーブルで最大延長距離の伝送を確認しております。

当社確認済みツイストペアケーブル		
メーカー	規格	型名
岡野電線	CAT5e (STP)	OKTP-E5-0.5X4P-SA
	CAT6 (UTP)	OKTP-6-AWG24X4P

## 8. こんなときは

現象	確認事項	確認箇所	確認事項
映像が映らない 音声が届かない	電源	専用ACアダプタは接続されていますか？	本体のPOWER LEDが点灯していることを確認してください。
	DVI 入力/出力	接続を確認してください。	本体の HDCP LED が点灯、または点滅していますか？
	ツイストペアケーブル	接続を確認してください。	本体の LINK/OUTPUT LED が点灯していることを確認してください。
		束ねていませんか？	ケーブルを束ねる場合は、STP ケーブルを使用してください。
伝送信号解像度	伝送信号の解像度を確認してください。	本体の設定が長距離モードであるとき、DeepColor の 1080p 信号、UXGA、WUXGA (Reduced-Blanking) 解像度の映像信号の伝送はできません。	
RS-232C 通信ができない	電源	専用ACアダプタは接続されていますか？	本体のPOWER LEDが点灯していることを確認してください。
	RS-232C ケーブル	接続ケーブルの種類を確認してください。	用途に合わせてストレートケーブル、クロスケーブルを使用してください。本製品は、PC-プリンタ/モデム間をストレートケーブルで接続する設計となっております。





東京営業：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-1 TEL. (03) 5651-7091 FAX. (03) 5651-7310  
大阪営業：〒541-8511 大阪市中央区淡路町 2-3-5 TEL. (06) 6204-6185 FAX. (06) 6204-6330

V1. 2/2014/03/10

※製品の仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。